

Title	編集後記
Sub Title	
Author	富田
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1967
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.60, No.8 (1967. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670801-0160

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

資本論刊行百年記念特集

論 説

「資本論」における土地所有の論理……………小池基之

——研究序説——

商品論の成立……………遊部久蔵

「資本論」とヨーロッパ労働運動……………飯田 鼎

信用と恐慌との連繋について……………飯田裕康

——一つの覚え書——

前号目次

論 説

企業における専門職業者……………青沼吉松

——中間層の問題——

日本資本主義の再生産構造分析試論Ⅱ……………井村喜代子

——昭和三〇年以降の拡大再生産過程(4)——……………北原 勇

経済政策と国際協力……………大山道広

わが国主要寡占産業における競争と独占(一)……………植草 益

——部門内諸資本の生産規模Ⅱ費用格差構成——

書 評

矢島悦太郎著

『社会政策社会理論研究』……………飯田 鼎

宮鍋 職著

『ソヴェト農産物価格論』……………平野絢子

新刊紹介

編集後記

最近の経済理論においてはその推理の技術として数学がどんなに重要な役割を果たしているかはいまさらことあらためて言うまでもない。Econometricsのような雑誌は別としても、たとえばReview of Economic Studiesに掲載されている諸論文をみれば、たとえ英語をしらない人でも数学を知っていれば、そこでどういうことが主張されようとしているかある程度理解できると思われるほどである。かつて優れた数学の才をもちながら人間の学としての経済学のためにあえて数学的説明をさしひかえようとしたA・マージナルの心情にくらべると、数学の中に経済学が点在するかのような今日の在り方は、最大限かつ顕在的に数学の機能を顕わそうとするものである。その美をつつましく覆いかくそうとした昔に對して、これをできるかぎり発現しようとするミニスカートにも類する如くである。ある経済的事柄を証明するのに加減乗除の算術でこと足ることもある。あるいは幾何学的手法もある利点をもつ。しかしもっとも一般的かつ精密な推理が微積分学をはじめとする高度の数学的手法によってなされうることとは明らかである。それはまた極めて簡潔な表現でもあり、僅か数頁の論文でしかも画期的貢献をなしたのもその例に乏しくはない。

この号の論文、資料はその性質上ほとんど数学には関係のないものであるが、予想外に長いものが多く、基準を大幅に上廻るボリュームになってしまったことは編集者として深く責任を感じるものである。

(富田)

昭和四十二年八月一日発行

◎三田学会雑誌 第六十巻 第八号

定価 二〇〇円 (送料二円)

東京都港区三田二丁目一五番四五号

慶應義塾経済学会

編集人兼 代表者 遊部 久蔵

電話(493)二二一一一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区三田五丁目七番三号
図書印刷株式会社

木山 康夫

半カ年予約購読料(送料共) 一二〇〇円
一カ年 " " 二四〇〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田二丁目一九番三〇号
発売所 慶應通信

振替口座番号 東京一五五四九七